

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒215-0026

住 所 神奈川県川崎市麻生区古沢都古255

氏 名 医療法人社団 三成会

理事長 渡邊 一夫

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	医療法人社団 三成会		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市麻生区古沢都古255		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,867	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	2020 年度 ~ 2022 年度 (報告年度 2022 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	( 2019 年度)	( 2020 年度)	( 2021 年度)	( 2022 年度)	
排出量 ( t-CO2)	(実) 9,983 (調) 9,437	(実) 7,954 (調) 7,613	(実) 7,649 (調) 6,840	(実) 6,691 (調) 6,720	(実) 9,800 (調) 9,300
削減率		(実) 20.3 % (調) 19.3 %	(実) 23.4 % (調) 27.5 %	(実) 33.0 % (調) 28.8 %	(実) 1.8 % (調) 1.5 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	在院患者数				原単位等の単位	t-CO2/人
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	( 2019 年度)	( 2020 年度)	( 2021 年度)	( 2022 年度)		
排出量原単位等の値	19.84	17.51	16.92	13.65	19.00	
活動量の値	503	454	452	490	-	
排出量原単位等の削減率		11.7 %	14.7 %	31.2 %	4.2 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	2020年4月に新棟が開設され、病床数が従来の377床から563床へ186床増加したが、開設から3か月間は新棟を新型コロナウイルス患者専用病床として運用したことで、その後も外来患者数、入院患者数ともに想定を大幅に下回ったため、排出量原単位等の削減率は11.7%となった。	
第2年度	電気使用量については、既存棟の照明のLED化に伴い、対前年比で3.5%の減少となった。ガス使用量については、新棟での手術室の使用開始に伴い、オートクレーブ(滅菌機)がフル稼働となったため、対前年比で9.8%の増加になった。在院患者数については新棟4階北側病棟を新型コロナ病床に変更したため、受け入れ患者数が大幅に減少した。	
第3年度	2022年度は2021年9月に行った既存棟の照明のLED化の影響が大きく前年比2.6%の減少となった。ガス使用量に関しても特に冬場の冷温水機発生器の温度調整などを徹底し前年比8%の削減となった。	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		今回の期間は2021年度に行った照明のLED工事の影響が大きく電気使用量の削減に繋がった。またこの3年間はコロナの影響で入院患者の制限や手術の制限などもあり病院稼働自体が制限されている影響が大きかったと思える。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		今後は今回のようなLED工事などで大幅にエネルギー量を減らすことは難しく電気・ガスの使用量を各部署へ通知し節約の意識づけを行い照明・空調などの適正な使用を指導する必要がある。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー対策委員会を組織し、病院全体で省エネを推進する体制を構築する。</li> <li>・省エネルギーを推進するための各種マニュアルの整備および研修会を企画する。</li> <li>・主要設備等に係る運転管理、計測・記録、保守・点検についての管理標準を作成する。</li> <li>・対象設備毎に性能、効率等の定期的な点検を実施する。</li> <li>・エネルギー消費原単位の算出および管理を適正に行う。</li> <li>・使用頻度の低い空調機は、運転・停止の切替を適切に実施する。</li> <li>・外気条件の変動に応じた冷却水温度、冷温水温度の設定を行い、エネルギー効率を向上させる。</li> </ul>
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の節電委員を省エネルギー対策委員とし、省エネ活動の推進を実施した。</li> <li>・省エネルギーを推進するための各種マニュアルの整備を始めた。研修会はコロナ禍により見合わせ。</li> <li>・主要設備等に係る運転管理、計測・記録、保守・点検についての管理標準の整備を始めた。</li> <li>・対象設備毎に性能、効率等の定期的な点検を実施中。</li> <li>・エネルギー消費原単位の算出および管理を適正に行った。</li> <li>・使用頻度の低い空調機は、運転・停止の切替を適切に実施した。</li> <li>・外気条件の変動に応じた冷却水温度、冷温水温度の設定を行い、エネルギー効率を向上させた。</li> </ul>
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年8月～9月にかけて、既存棟の照明をすべて白熱灯からLEDへ取替を実施した。</li> <li>・主要設備等に係る運転管理、計測・記録、保守・点検についての管理標準の整備を行った。</li> <li>・対象設備毎に性能、効率等の定期的な点検を実施した。</li> <li>・エネルギー消費原単位の算出および管理を適正に行った。</li> <li>・使用頻度の低い空調機は、運転・停止の切替を適切に実施した。</li> <li>・外気条件の変動に応じた冷却水温度、冷温水温度の設定を行い、エネルギー効率を向上させた。</li> </ul>
<p>第3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要設備等に係る運転管理、計測・記録、保守・点検についての管理標準の整備を行った。</li> <li>・対象設備毎に性能、効率等の定期的な点検を実施した。</li> <li>・エネルギー消費原単位の算出および管理を適正に行った。</li> <li>・使用頻度の低い空調機は、運転・停止の切替を適切に実施した。</li> <li>・外気条件の変動に応じた冷却水温度、冷温水温度の設定を行い、エネルギー効率を向上させた。</li> </ul>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>2021年の既存棟の照明LED化による電力量削減が大きかった。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	○	屋上にはヘリポートや設備が多く設置は難しい。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ( )		
その他 ( )		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ( )	
EV、PHV、FCV	×	その他 ( )	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	・各種産業廃棄物の分別化を推進する。
第1年度	分別化実施中。
第2年度	分別化実施中。
第3年度	分別化実施中。

6 基準年度からのエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出の量等の推移 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	9,983 t-CO <sub>2</sub>	7,954 t-CO <sub>2</sub>	7,649 t-CO <sub>2</sub>	6,691 t-CO <sub>2</sub>
原油換算エネルギー 使用量	5,005 KL	4,005 KL	4,053 KL	3,867 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
新百合ヶ丘総合病院	神奈川県川崎市麻生区古沢都古255	9,983	7,954	7,649	6,691

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO <sub>2</sub> の排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
		基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度